

宮城県【平成25年01月17日】発行
 情報収集：宮城県保健環境センター [Tel:(022)257-7228]
 配信元：宮城県地域医療情報センター [Tel:(022)221-9911]
 (FAX 配信に関するお問い合わせは地域医療情報センターへお願い致します)

宮城県感染症発生動向調査情報(第2週)

【傾向の凡例】
 ◎：今後の情報に十分注意
 ○：今後の情報に留意
 レ：減少傾向

— 2013.1.7 ~ 1.13 ・ 第2週 患者発生数(定点医療機関) —

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	全地区 患者数	傾向	コメント																								
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼																												
インフルエンザ	79	137	65	4	37	94	45	367	828	○	<p>— 今週の全数報告疾病 —</p> <p>1類感染症：報告なし ※男児、女児は6歳未満 2類感染症：結核 塩釜管内 女性 1名 大崎管内 女性 1名 気仙沼管内 男性 2名</p> <p>3類感染症：報告なし 4類感染症：報告なし 5類感染症：ウイルス性肝炎 大崎管内 男性 1名 梅毒 塩釜管内 男性 1名 石巻管内 男性 1名</p> <p>— 今週の感染症のコメント —</p> <p>[インフルエンザ]：石巻、気仙沼管内で注意報値を越えた。 先週の報告より急増し、仙南、塩釜管内でも注意報値に達する勢いで増加した。またインフルエンザによる入院患者報告やインフルエンザ様症状による学校の臨時休業も報告されていることから、本格的な流行期に入ったものと思われる。</p> <p>[感染性胃腸炎]：石巻管内で警報値を越えた。 [水痘]：気仙沼管内で警報継続中。 仙南管内で注意報値を越えた。 [流行性耳下腺炎]：石巻管内で警報継続中。</p> <p><< STD 発生動向調査(月報) 12月 >> 宮城県【平成25年 1月17日】発行 (男性) (女性)</p> <table border="0"> <tr> <td>性器クラミジア感染症</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>性器ヘルペスウイルス感染症</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>尖圭コンジローマ</td> <td>18</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>淋菌感染症</td> <td>17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ペニシリン耐性肺炎球菌感染症</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性緑膿菌感染症</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性アシネトバクター感染症</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	性器クラミジア感染症	15	8	性器ヘルペスウイルス感染症	6	7	尖圭コンジローマ	18	4	淋菌感染症	17	0	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	1	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
性器クラミジア感染症	15	8																																	
性器ヘルペスウイルス感染症	6	7																																	
尖圭コンジローマ	18	4																																	
淋菌感染症	17	0																																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	10																																	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	1																																	
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0																																	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0																																	
咽頭結膜熱	3	1		1				5	10																										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	25	3		2	18		29	93	○																									
感染性胃腸炎	36	49	45	21	29	115	19	195	509	○																									
水痘	20	25	14	5	3	14	11	59	151	○																									
手足口病		1	1		3	3	1	10	19																										
伝染性紅斑	5							1	6																										
突発性発疹	3	5	8	2	3		1	19	41	○																									
百日咳																																			
ヘルパンギーナ							1		1																										
流行性耳下腺炎	2	12	4		2	24	3	10	57	○																									
急性出血性結膜炎																																			
流行性角結膜炎																																			
RSウイルス感染症	3	6			1			4	14																										
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)																																			
無菌性髄膜炎																																			
マイコプラズマ肺炎	9	5	7	5	1	2	14	16	59	○																									
クラミジア肺炎(オウム病除く)			2						2																										
川崎病																																			
不明の発疹性疾患								2	2																										

◀ウイルス分離状況▶ 12.31(第1週) ~ 1.13(第2週) 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター提供

Flu	Para	RS	Mumps	Measles	Adeno	Entero	Rhino	HSV	CMV
12		4							

インフルエンザA香港型の流行が始まりました。1月下旬から2月上旬にかけてがピークになると思われます。

(コメント:永井小児科医院 永井幸夫)